

つきぐみだより

5月号

令和2年5月14日 発行

つきぐみでの新しい生活を1週間、その後、1ヶ月程はご家庭での時間。皆さまはどのように過ごしていましたか。休園中の保育園はいつもの園とは異なり、とても静まっております。また、子どもたちの活発な声がとても懐かしく感じます。改めて、子どもたちと一緒に生活を過ごせる環境に感謝の気持ちがあふれています。

この休園中に週に1回程度、園からのご家庭の様子を伺う電話をかけさせていただきました。保護者の皆さまのあたたかな声や子どもたちの元気な声から一安心できた瞬間でした。お忙しい中、ご協力をいただきありがとうございます。子どもたちが元気に保護者の皆さまと登園ができる日を心から楽しみにしています。

いつも通りの保育園生活がはじまりましたら、改めて幼児クラスの生活に慣れることや自分の身の回りのことを行うことなどを丁寧に楽しく進めていきたいと思っております。また、友だちと一緒に遊ぶことの喜びを一緒に味わいたいです。

今後も少しずつ子どもたちや保護者の皆さまと信頼関係を築き、楽しい園生活を送れるようにしていきたいと思っております。ご家庭でご協力いただくこともあるかと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。



前期 保護者懇談会について

先日、緊急連絡メールにてお知らせの通り、新型コロナウイルス感染症対策の観点から中止となりました。保護者懇談会にてお伝えする内容につきましては後日、資料を配布させていただきます。資料の内容、保育、その他でご質問・ご不明な点がございましたら、担任までお声かけ下さい。

○4月の様子○

室内では自分の遊びたい玩具（必要なもの）を自分で出して、遊び始めるようになりました。

描画、パズル、ねんど、絵本、ごっこあそびなど



園庭遊びでは、春の植物や生き物を観察している姿を良く見かけます。

「テントウムシをみつけたよ」「みせて」「どこにいたの」と大興奮で友だちのつけたテントウムシを観察。

「あるいてるね」「あ！羽がでた」「おうちはどこかな」など言葉が次々と出てきます。

植物に水をあげることに張り切って挑戦してくれます。ジョウロから水がこぼれないように、そっとそっと運んだり、持ち手を工夫したりしています。「おおきくなーれ」と言葉に出して水をあげてくれる子どもたちです。

これから、野菜の栽培をはじめていきます。子どもたちはどんな反応を見せてくれるのかとっても楽しみです。また、絵の具や泥遊びも取り入れていきます。着替え等のご協力よろしくお願い致します。